目 次

第 1 1	節帳	簿······	1
1.	. 意	義·····	1
2.	. 分類と	· 種類· · · · · · · · · · · · · · · · · ·	1
3.	. 取引と	・帳簿記入手順の関係図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
4.	. 基礎的	b記帳技術·····	3
第21	節 帳簿	ş組織······	8
1.	. 意	義······	8
2.	. 発	展·····	8
第31	節 単一	- 仕訳帳 • 単一元帳制······	9
1.	. 意	義· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	9
2.	. 記帳手	E順·····	9
3.	. 利点と	:欠点	9
	poi	nt up lesson 1 (第3節のまとめ問題) ······	11
第41	節 単一	- 仕訳帳・補助簿併用制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17
1.	. 意	義· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	17
2.		章の種類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17
		E順·····	17
		:欠点	17
5.	. 独自平	Z均元帳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	18
6.	. 補助元	E帳検証表·····	19
	poi	nt up lesson 2·····	19
第51	節 補助	カ記入帳⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯	21
1.	. 補助簿	掌としての小口現金出納帳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	21
	poi	nt up lesson 3·····	23
2.	. 補助簿	章としての現金出納帳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	27
	poi	nt up lesson 4·····	27

	3.	補助簿としての当座預金出納帳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	29
		point up lesson 5·····	29
	4.	補助簿としての仕入帳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	31
		point up lesson 6·····	31
	5.	補助簿としての売上帳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	33
		point up lesson 7·····	33
	6.	補助簿としての受取手形記入帳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	35
		point up lesson 8·····	35
	7.	補助簿としての支払手形記入帳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	37
		point up lesson 9·····	37
第	6 飲	5 補助元帳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	39
	1.	商品有高帳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	39
		point up lesson 10·····	43
		point up lesson 11·····	45
		point up lesson 12·····	47
		point up lesson 13·····	49
	2.	仕入先元帳·····	53
		point up lesson 14·····	53
	3.	得意先元帳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	55
		point up lesson 15·····	55
	4.	有価証券台帳	57
		point up lesson 16·····	57
	5.	固定資産台帳	59
		point up lesson 17·····	59
		point up lesson 18 (第4~6節のまとめ問題) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	61
第	7 飲	5 多欄式仕訳帳制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	73
	1.		73
	2.	多欄式仕訳帳	73
	3.	記帳手順・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	74
	4.	利点と欠点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	74

point up lesson 19 (第7節のまとめ問題) ······	75
第8節 特殊仕訳帳制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	87
1. 意 義	87
2. 誕生過程	87
3. 特殊仕訳帳の種類・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	88
4. 記帳手順・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	88
5. 利点と欠点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	89
6. チェック・マーク (√) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	91
第 9 節 特殊仕訳帳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	94
1. 特殊仕訳帳としての小口現金出納帳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	94
point up lesson 20·····	97
2. 特殊仕訳帳としての現金出納帳	99
point up lesson 21·····	99
3. 特殊仕訳帳としての当座預金出納帳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	101
point up lesson 22·····	101
4. 特殊仕訳帳としての仕入帳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	103
point up lesson 23·····	106
5. 特殊仕訳帳としての売上帳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	111
point up lesson 24·····	114
6. 特殊仕訳帳としての受取手形記入帳	120
point up lesson 25·····	121
7. 特殊仕訳帳としての支払手形記入帳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	124
point up lesson 26·····	125
第10節 二重仕訳とその問題点の解決策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	127
1. 意 義	127
2. 問題点	127
3. 解決策	127
4. 二重仕訳となる取引・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	127
5. 二重転記の回避手続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	134
6. 二重仕訳金額の削除手続・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	134
point up lesson 27·····	135

point up lesson 28·····	• 136
point up lesson 29·····	· 137
point up lesson 30·····	· 138
point up lesson 31·····	• 139
point up lesson 32·····	· 141
point up lesson 33·····	• 143
point up lesson 34·····	• 145
point up lesson 35·····	· 147
point up lesson 36·····	· 149
point up lesson 37·····	• 151
point up lesson 38·····	• 153
point up lesson 39(第8~10節のまとめ問題-その1)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 157
point up lesson 40 (第8~10節のまとめ問題-その2) ······	· 169
第11節 精算勘定の利用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 181
1. 精算勘定の意義・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 181
2. 精算勘定の利用の経緯と利点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 181
3. 精算勘定を利用した代表的な取引	
とその勘定科目の名称と帳簿記入	• 182
4. 利用上の留意点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	• 182
point up lesson 41 (第11節のまとめ問題) ······	• 183
point up lesson 41 (第11節のまとめ問題) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	· 196
第12節 大陸式簿記法と英米式簿記法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	· 196 · 196

【解答用紙】の目次

point	up	lesson	1 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	211	point	up	lesson	26 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	268
point	up	lesson	2 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	215	point	up	lesson	27 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	269
point	up	lesson	3 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	216	point	up	lesson	28 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	270
point	up	lesson	$4\cdots\cdots\cdots\cdots$	218	point	up	lesson	29 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	271
point	up	lesson	5 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	219	point	up	lesson	30 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	272
point	up	lesson	6 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	220	point	up	lesson	31 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	273
point	up	lesson	7 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	221	point	up	lesson	32 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	274
point	up	lesson	8 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	222	point	up	lesson	33 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	275
point	up	lesson	9 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	223	point	up	lesson	34 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	276
point	up	lesson	10 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	224	point	up	lesson	35 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	277
point	up	lesson	11	226	point	up	lesson	36 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	278
point	up	lesson	12····	228	point	up	lesson	37 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	279
point	up	lesson	13	230	point	up	lesson	38 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	280
point	up	lesson	14	234	point	up	lesson	39 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	282
point	up	lesson	15	235	point	up	lesson	40 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	291
point	up	lesson	16 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	236	point	up	lesson	41 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	299
point	up	lesson	17····	237	point	up	lesson	42 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	307
point	up	lesson	18 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	238					
point	up	lesson	19 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	247					
point	up	lesson	20 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	256					
point	up	lesson	21 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	257					
point	up	lesson	22	258					
point	up	lesson	23	259					
point	up	lesson	24	263					
point	up	lesson	25	267					

第1節 帳 簿

1. 意 義

帳簿とは、企業の経済活動(取引)を主として貨幣金額によって継続的、秩序的に記録・計算・集計するための記入場所である。

2. 分類と種類

- ① 原始簿と転記簿… 取引を帳簿に記帳する順序による分類
 - i) 原始簿… 取引が発生したときに最初に記入される帳簿であり、代表的なものは仕訳帳(※1) であるが、補助記入帳(※2) もこれに含まれる。
 - ii) 転記簿… 原始簿からの転記(※3)によりその記入が行われる帳簿であり、代表的なものは 総勘定元帳(※4)であるが補助元帳(※5)もこれに含まれる。
- ② 主要簿と補助簿… 複式簿記の機構上不可欠か否かによる分類
 - i) 主要簿… 複式簿記を実施する上で不可欠な帳簿であり、仕訳帳と総勘定元帳がこれに該当する。
 - ii)補助簿… 複式簿記を実施する上で不可欠な帳簿ではないが、重要な特定の種類の取引または 勘定口座について詳細な記録・計算をする帳簿である。これには補助記入帳と補助元 帳が該当する。
 - (※1) 仕訳帳とは、仕訳を行う帳簿である。
 - (※2) 補助記入帳とは、重要な特定の種類の取引について詳細に記録・計算する帳簿であり、(小口) 現金出納帳、当座預金出納帳、仕入帳、売上帳、受取手形記入帳、支払手形記入帳などが該当する。
 - (※3) 転記とは、仕訳帳に記入された仕訳を総勘定元帳の勘定口座に機械的に移記する手続である。
 - (※4)総勘定元帳とは、勘定口座を有する帳簿である。
 - (※5) 補助元帳とは、重要な特定の勘定口座の明細を口座別に記録・計算する帳簿であり、仕入先元帳、得意先元帳、商品有高帳などが該当する。

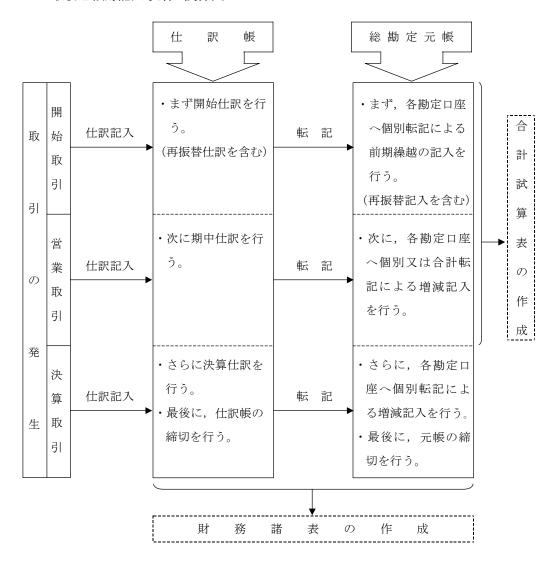
<理解図>

記帳順序による分類複式簿記の機構上の分類	原始簿	転 記 簿
主要簿	仕 訳 帳	総勘定元帳
補 助 簿	補助記入帳	補 助 元 帳

<各帳簿への記入の仕方>

・取引が発生すると、まず「仕訳帳」と「補助記入帳」に記入され、次に「仕訳帳」から「総勘 定元帳」と「補助元帳」へ転記される。

3. 取引と帳簿記入手順の関係図



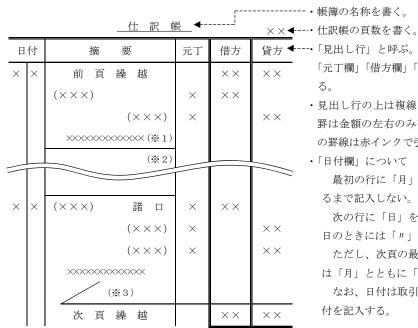
(説 明)

- ・ まず、開始取引を仕訳帳に「開始仕訳」し、転記によって総勘定元帳の各勘定口座に前期繰越の記入を行う。なお、この取引の帳簿記入方法については、4. 基礎的記帳技術(P. $3\sim P$. 4)を読んだ後に、P. $5\sim P$. 6の参考を参照すること。
- ・ 次に、営業取引を仕訳帳に「期中仕訳」し、個別(※1)または合計転記(※2)によって総勘定 元帳の各勘定口座に増減記入を行う。
- ・ ここまでの総勘定元帳の各勘定口座の借方と貸方を一覧表にしたものが合計試算表である。
- ・ さらに、決算取引を仕訳帳に「決算仕訳」し、個別転記によって総勘定元帳の各勘定口座に再度増減記入を行う。

- 最後に、仕訳帳及び総勘定元帳を締切る。
- (※1) 個別転記とは、取引の発生の都度、各勘定口座へ転記することである。
- (※2) 合計転記とは、一定期間の取引をまとめて各勘定口座へ転記することである。

4. 基礎的記帳技術

① 仕訳帳の標準様式と記入の仕方



貸方 ◀---・「見出し行」と呼ぶ。「日付欄」「摘要欄」 「元丁欄」「借方欄」「貸方欄」を設定す

- ・見出し行の上は複線、下は単線とし、縦 罫は金額の左右のみ複線とする。すべて の罫線は赤インクで引く。
- 「日付欄」について 最初の行に「月」を記入し、月が変わ るまで記入しない。

次の行に「日」を記入し、同一頁同一 日のときには「川口印を使用する。

ただし、次頁の最初の仕訳の日付欄に は「月」とともに「日」も記入する。

なお、日付は取引が発生したときの日 付を記入する。

「摘要欄」について

摘要欄の中央より左側に借方勘定科目名を、右側に貸方勘定科目名を括弧を付けて記入する。1 科目1行とし、借方科目から先に記入する。

複合取引の場合には2科目以上の側の上に「諸口」と書き、同一の行に相手勘定科目名を記入す る。もし、借方と貸方ともに2科目以上の複合取引が発生した場合にはまず借方と貸方にそれぞれ 「諸口」と同一の行に書き、次の行から借方科目名を記入する。

- (※1)「小書き」と呼ぶ。取引の内容が仕訳記入だけでは十分説明できない場合に仕訳の下に小 さい文字でその内容を補足説明すること。
- (※2)「仕切線」と呼ぶ。各仕訳ごとに(小書きがある場合にはその下)横線を引いて仕切る。 ただし、各頁の最後の仕訳については仕切線は不要である。

摘要欄の最下行には「次頁繰越」と書き、金額欄には借方・貸方のそれぞれの合計額を記入し両 者が一致することを確かめる。

(※3)「三角線」と呼ぶ。余白を残して次頁に移るときは摘要欄に三角線を引き、記入のないこ とを示す。余白があるからといって借方勘定科目と貸方勘定科目を次頁にまたがって記入し てはならない。

- ・「元丁欄」について 転記する勘定口座の頁数(口座番号)を記入する。
- ・「借方欄」・「貸方欄」について 借方勘定科目の金額を借方欄に,貸方勘定科目の金額を貸方欄に記入する。

② 元帳の勘定口座の様式と記入の仕方

i) 標準様式

			定定	4 目	<u>名</u> ◆		××	勘定科目の名称を書く。 ▼- 勘定口座の頁数(口座番号)を
日付	摘要	仕丁	借方	日付	摘 要	仕丁	貸方▶、	書く。
\times \times	×××	×	××	\times	×××	×	××	、、勘定の中央を二分し、左側を借
								方とし、右側を貸方とする。
								借方・貸方ともに「日付欄」、
								「摘要欄」、「仕丁欄」、「金額
								欄」(借方欄、貸方欄)の4欄
								からなっている。

ii) 残高様式

			勘気	官 科 目	名		$\times \times$	
日	付	摘要	仕丁	借方	貸方	借また は貸	残高	金額
×	×	前期繰越	×	××		借	××	けら
	×	\times \times \times	×	$\times \times$		"	××	らに
	×	\times \times \times	×		$\times \times$	"	××	に設

- ・金額欄として「残高欄」が設けられる。
- 「借または貸欄」は貸借どち らに残高があるかを示すため に設けられる。

iii) T字形様式(簡略様式)



- ・「日付欄」について 日付は仕訳帳から転記が行われた日付を記入する。
- ・「摘要欄」について 仕訳の相手勘定科目名を記入する。

・「仕丁欄」について

転記の対象となる当該勘定科目が仕訳されている仕訳帳の頁数を記入する。なお、前述した仕訳 帳の「元丁欄」も元帳の「仕丁欄」も共に「丁数欄」とすることもある。

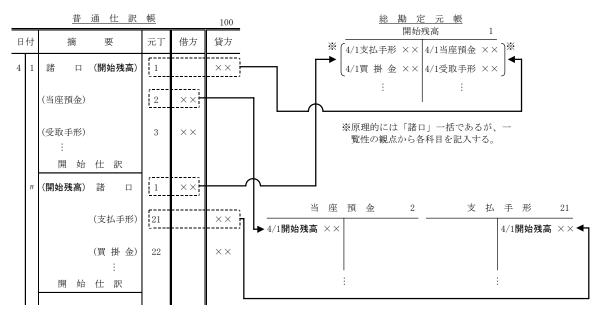
「借方欄」・「貸方欄」について

仕訳帳に仕訳記入された勘定科目が借方の場合には当該勘定口座の「借方欄」に、また貸方の場合にはその「貸方欄」に金額を記入する。

一参 考一

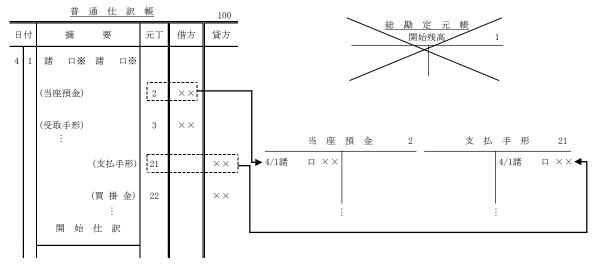
- 1. 開始取引の帳簿記入の二方法
 - ① 開始残高勘定を総勘定元帳に設けて帳簿記入する方法

<記入例>



② 開始残高勘定を総勘定元帳に設けないで帳簿記入する方法

<記入例>

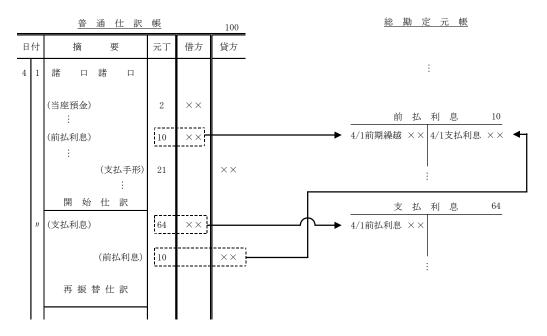


※「諸口」すら記入しないで直接、各勘定科目を記入 することもある。

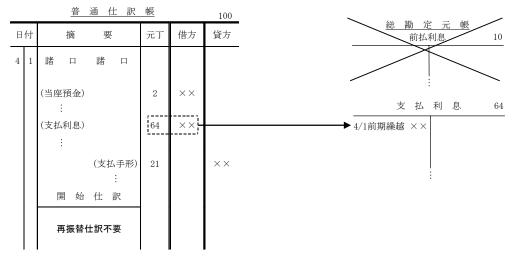
(コメント)

現在では開始残高勘定を設けることに余り意味がないということから省略することが多い。本書においても特に指示しない限り開始残高勘定を設定しない方法によることにするが、各勘定口座の摘要欄には「諸口」ではなく、わかりやすい「前期繰越」を記入することにする。

- 2. 再振替取引の帳簿記入の二方法
 - ① 費用・収益の見越・繰延の処理方法として間接整理法を採っている場合の帳簿記入方法 <記入例>



② 費用・収益の見越・繰延の処理方法として直接整理法を採っている場合の帳簿記入方法 <記入例>



(コメント)

①の方法が典型的な方法であるが、②の方法によると再振替仕訳が不要となる点を覚えておいて欲 しい。

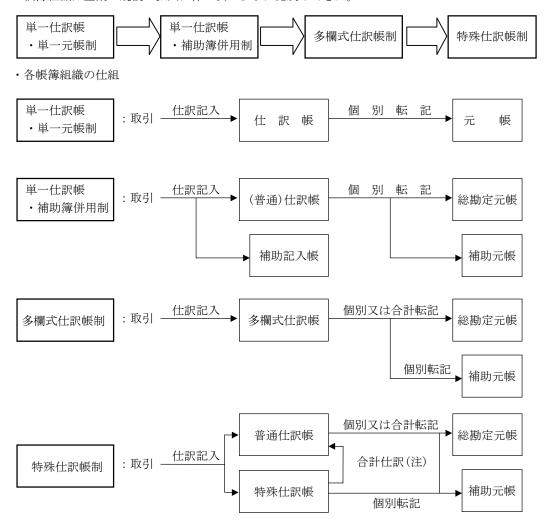
第2節 帳簿組織

1. 意 義

帳簿組織とは、企業の経済活動(取引)を合理的に記録・計算・集計するために、各種帳簿を有機 的に関係づける統一的な仕組である。

2. 発展

・帳簿組織は企業の規模の拡大に伴い次のように発展してきた。



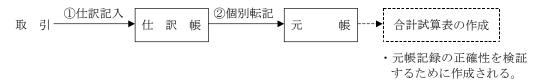
(注) 合計仕訳とは、特殊仕訳帳に行われた仕訳を一定期間ごとにまとめてもう一度普通仕訳帳に 仕訳することである。

第3節 単一仕訳帳・単一元帳制

1. 意 義

単一仕訳帳・単一元帳制とは、すべての取引を単一の仕訳帳に発生順に記入し、ついで、単一の元帳の各勘定口座に個別転記する最も基本的な帳簿組織である。

2. 記帳手順



(注) ①, ②は記帳順序を示す。

3. 利点と欠点

- ① **利 点**… i) その仕組が単純で理解し易いこと。
 - ii) 転記の手続が個別転記だけであるため簡単であること。
- ② 欠 点… i)取引ごとに、仕訳帳に仕訳記入を行い、同時に元帳に転記を行うため取引量が多くなるとかなりの時間と手間がかかること。
 - ii) 反復繰り返し出てくる取引について同じように仕訳記入を行わなければならない ので転記漏れの可能性が高くなること。
 - iii) 特定の重要な取引や特定の重要な勘定についての明細が得られないこと。
 - iv) 記帳事務の分担ができないこと。

MEMO

—— point up lesson 1 ————

解答用紙はP.211

アイ・シー・オー㈱の下記の〔資料Ⅰ〕から〔資料Ⅲ〕に基づいて、解答用紙に示した帳簿の記入をするとともに、合計試算表を作成しなさい。なお、大陸式簿記法を前提とする。

〔資料 I〕アイ・シー・オー㈱が採用している帳簿組織





〔資料Ⅱ〕期首の残高試算表

		残	高	試 算 表	(単位:円)
勘	定	科	目	借方	貸方
小	П	現	金	150	
当	座	預	金	9, 250	
受	取	手	形	2,000	
売	扌	卦	金	4,000	
前	ì	度	金	800	
有	価	証	券	9, 940	
繰	越	商	品	1, 180	
前非	ム利息	• 割 弓	料	180	
備			品	12,000	
支	払	手	形		5, 260
買	扌	卦	金		4, 640
前	Ē	艾	金		700
借	7	人	金		6, 080
未	払	給	料		55
貸	倒	引 当	金		120
備品	占減価値	賞却累計	十額		7, 980
資	7	*	金		10, 000
繰き	越利益	益剰 余	金		4, 665
í	合	計		39, 500	39, 500

[資料Ⅲ] アイ・シー・オー㈱の1事業年度中(自×1年4月1日至×2年3月31日)の取引を同一種類ごとに合計額で示すと次の通りである。

- ① 商品4,200円を掛で仕入れた。
- ② 商品2,600円を仕入れ、代金は手形を振出して支払った。
- ③ 商品8,900円を仕入れ、代金は小切手を振出して支払った。
- ④ 商品800円を仕入れ、代金は手付金で充当した。
- ⑤ ①で仕入れた商品400円を返品し、代金は買掛金より差引いた。
- ⑥ 商品8,700円を掛で売上げた。
- (7) 商品5,100円を売上げ、代金は約束手形で受取った。
- ⑧ 商品3,300円を売上げ、代金は小切手で受取り、当座預金に預入れた。
- ⑨ 商品500円を売上げ、代金は手付金と相殺した。
- ⑩ ⑥で売上げた商品が品質不良のため380円の値引を行い、代金は売掛金より差引いた。
- ① 売掛金4,060円を小切手で受取り、当座預金に預入れた。
- ② 売掛金2,800円を約束手形で受取った。
- ③ 為替手形1,950円を振出し(B商店宛,甲商店指図),B商店の引受を得た。なお、偶発債務は記帳していない。
- ④ 売掛金740円が期日前に回収されたため40円の割引を行い、残額 700円を小切手で受取り、当座預金に預入れた。
- ⑤ 買掛金5,020円の支払として、小切手を振出した。
- (⑥) 買掛金690円の支払として、約束手形を振出した。
- ① 買掛金550円の支払として、所有手形を裏書譲渡した。なお、偶発債務は対照勘定を用いて記帳している。ただし、不渡りの危険がほとんどない優良手形であるため、保証債務の時価はゼロであり、保証債務は計上しない。
- (18) 受取手形6,030円を小切手で回収し、当座預金に預入れた。
- (9) 受取手形1,400円を銀行で割引き、割引料210円を差引かれ手取金1,190円は当座預金に預入れた。 なお、偶発債務は評価勘定を用いて記帳している。ただし、不渡りの危険がほとんどない優良手形で あるため、保証債務の時価はゼロであり、保証債務は計上しない。
- ② ⑨で割引いた手形が決済された旨の通知を取引銀行より受けた。
- ② ⑦で裏書した手形が決済された旨の通知を取引銀行より受けた。
- ② 支払手形970円は期日が到来したが、支払不能のため、更改を依頼し承認を受けた。この場合、支払期日延長に伴う利息30円は新たな支払手形額面に加算するものとする。
- ② 支払手形8,150円の決済として、小切手を振出した。
- ② 受取利息90円を小切手で受取り、当座預金に預入れた。
- ② 給料360円を小切手を振出して支払った。
- ② 当期の売掛金480円が貸倒れた。
- ② 簿価7,000円の有価証券を7,620円で売却し、代金は小切手で受取り、当座預金に預入れた。
- ② 交通費60円を小口現金で支払った。
- ⑩ 通信費50円を小口現金で支払った。
- ③1 雑費35円を小口現金で支払った。
- ② 小口現金145円を小切手を振出して補給した。

<解 答>(単位:円)

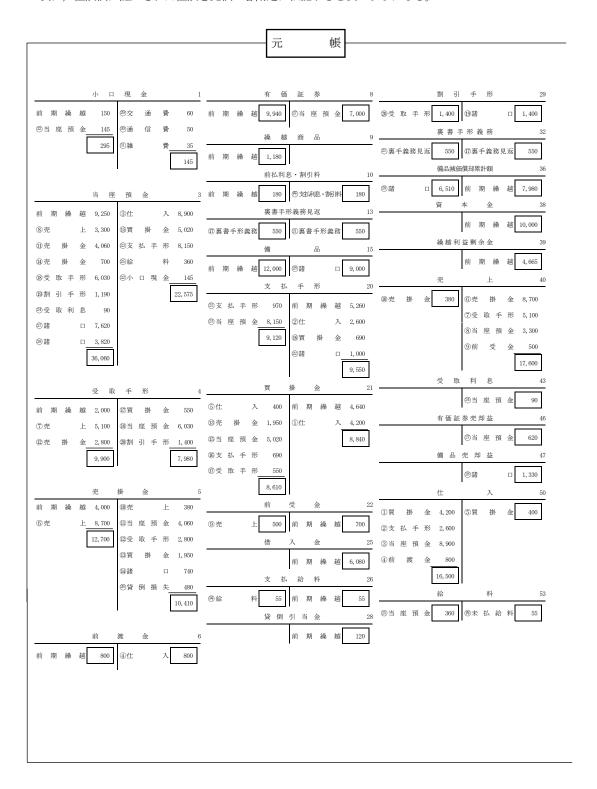
・まず、本問の取引を仕訳帳に仕訳すると次のようになる。

仕 訳 帳

付	摘要	元丁	借方	貸方	日	付		摘			要		元丁	借方	貸 5
(#)	諸 口 諸 口							前	頁	繰	越			46, 535	46, 50
	(小口現金)	1	150			3	(仕		入)				50	8, 900	
	(当座預金)	3	9, 250							(当	座 預	金)	3		8, 90
	(受取手形)	4	2,000			4	(仕		入)				50	800	
	(売 掛 金)	5	4,000							(前	渡	金)	6		80
	(前 渡 金)	6	800			(5)	(買	掛	金)				21	400	
	(有 価 証 券)	8	9, 940							(仕		入)	50		40
	(繰越商品)	9	1, 180			6	(売	掛	金)				5	8, 700	
	(前払利息・割引料)	10	180							(売		上)	40		8, 70
	(備 品)	15	12,000			7	(受 取	手	形)				4	5, 100	
	(支払手形)	20		5, 260						(売		上)	40		5, 10
	(買 掛 金)	21		4, 640		8	(当座	預	金)				3	3, 300	
	(前 受 金)	22		700						(売		上)	40		3, 3
	(借入金)	25		6, 080		9	(前	受	金)				22	500	
	(未 払 給 料)	26		55						(売		上)	40		50
	(貸倒引当金)	28		120		10	(売		上)				40	380	
	(備品減価償却) 累 計 額	36		7, 980						(売	掛	金)	5		38
						11)	(当座	預	金)				3	4, 060	
	(資 本 金)	38		10,000		ļ				(売	掛	金)	5		4, 06
	(繰越利益剰余金)	39		4, 665		12)	(受 取	チ					4	2, 800	
#	(支払利息・割引料)	64	180							(売	掛	金)	5		2, 80
	(前/利息・割/料)	10		180		(13)	(買	掛	金)				21	1, 950	
#	(未払給料)	26	55							(売	掛	金)	5		1, 9
	(給料)	53		55		14)	諸			(売	掛	金)	5		7-
(1)	(仕入)	50	4, 200				(当座		金)				3	700	
	(買掛金)	21	0.0	4, 200					引)				66	40	
2	, ,	50	2,600			(15)	(買	掛	金)		phr 22*	^ \	21	5, 020	
	(支払手形) 次頁繰越	20	46, 535	2, 600 46, 535				次		(当繰	座預越	金)	3	89, 185	5, 0 89, 1

付	摘 要	元丁	借方	貸方	日(付	摘	要	元丁	借方	貸
	前 頁 繰 越		89, 185	89, 185			前 頁	繰 越		110, 435	110, 43
(16)	(買 掛 金)	21	690		(27)	(当座預金) 諸 口	3	7, 620	
	(支払手形)	20		690				(有価証券)	8		7, 00
17)	(買 掛 金)	21	550					(有価証券売却益)	46		62
	(受 取 手 形)	4		550	(28)	諸口	諸 口			
"	(裏書手形義務見返)	13	550				(当座預金)	3	3, 820	
	(裏書手形義務)	32		550			,備品減価償却)	36	6, 510	
(18)	(当座預金)	3	6, 030				(累計額	,	00	0,010	
	(受取手形)	4		6, 030				(備 品)	15		9, 00
19	諸 口 (割引手形)	29		1, 400				(備品売却益)	47		1, 33
	(当座預金)	3	1, 190		(29	(交通費)	54		
	(手形売却損)	65	210					(小口現金)	1		(
20	(割引手形)	29	1, 400		(30	,)	56		
_	(受取手形)	4		1, 400		_		(小口現金)	1		Ę
(21)	(裏書手形義務)	32	550		((31)	(雑 費		59		
	(裏書手形義務見返)	13		550				(小口現金)	1		
2	諸 口 (支払手形)	20	970	1,000	((32)	(小口現金		1		1.
	(支払利息・割引料)	64	30				合	(当座預金)計	3	128, 675	100 6
@	(支払手形)	20	8, 150					ΠI		120, 075	120, 0
(4)	(当座預金)	3	0, 150	8, 150	ļ	ļ			1 .		
(24)	(当座預金)	3	90				考)				
	(受取利息)	43		90			日付欄の側:開始仕 # : 再振替				
25)	(給料)	53	360				" ①~32: 取	引番号			
	(当座預金)	3		360			後出の「まとめ問題	」においても同様。			
26)	(貸倒損失)	60	480								
	(売 掛 金)	5		480							
	次 頁 繰 越		110, 435	110, 435							

・次に、仕訳帳に記入された仕訳を元帳の各勘定に転記すると次のようになる。



❷小 □ 現 金 ◎小 □ 現 金 ③小 口 現 金 35 ∞売 掛 金 480 支払利息・割引料 画前払利息・ 画割 引 料 180 ◎支 払 手 形_ 30 210 手 形 売 却 損 ⑩割 引 手 形 210 売 上 割 引 66 40 (4) 売 掛 (備 考)

●:再振替記入

後出の「まとめ問題」においても同様。

・ 最後に、元帳の各勘定の借方と貸方にそれぞれ で囲んだ 金額を合計試算表の各勘定科目の借方と貸方にそれぞれ入れて合計 すると仕訳帳の合計額と一致することを確かめよう。

合計	試到	算 表									
合計試算表											
勘定科目	元丁	借方	貸方								
	1	295	145								
当 座 預 金	3	36, 060	22, 575								
受 取 手 形	4	9, 900	7, 980								
売 掛 金	5	12, 700	10, 410								
前 渡 金	6	800	800								
有 価 証 券	8	9, 940	7,000								
繰 越 商 品	9	1, 180									
前払利息・割引料	10	180	180								
裏書手形義務見返	13	550	550								
備品品	15	12,000	9,000								
支 払 手 形	20	9, 120	9, 550								
買掛金	21	8, 610	8, 840								
前 受 金	22	500	700								
借入金	25		6,080								
未 払 給 料	26	55	55								
貸倒引当金	28		120								
割引手形	29	1, 400	1, 400								
裏書手形義務	32	550	550								
備品減価償却累計額	36	6, 510	7, 980								
資 本 金	38	,	10,000								
繰越利益剰余金	39		4, 665								
売 上	40	380	17, 600								
受 取 利 息	43		90								
有価証券売却益	46		620								
備品売却益	47		1, 330								
仕 入	50	16, 500	400								
給料	53	360	55								
交 通 費	54	60									
通信費	56	50									
雑 費	59	35									
貸 倒 損 失	60	480									
支払利息・割引料	64	210									
手 形 売 却 損	65	210									
売 上 割 引	66	40									
2		128, 675	128, 675								
ц п	I	120, 010	120, 010								

第4節 単一仕訳帳・補助簿併用制

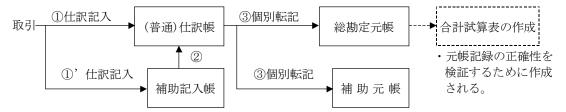
1. 意 義

単一仕訳帳・補助簿併用制とは、すべての取引を発生順に(普通)仕訳帳に記入すると同時に特定の重要な取引については補助記入帳にも記入し、ついで、総勘定元帳の各勘定口座に個別転記するとともに特定の重要な勘定については補助元帳へも個別転記する帳簿組織である。

2. 補助簿の種類



3. 記帳手順



(コメント)

補助記入帳に記入される取引がある場合の記帳手順は理論的には①,①' →③であるが,実際には①' →②→③であり,そこに記入されない取引の場合の記帳手順は①→③である。
 なお、本書においては実際的な①' →②→③の後者の方法で以下説明することにする。

4. 利点と欠点

- ① **利 点**… i)特定の重要な取引や特定の重要な勘定についての明細が得られること。
 - ii) 記帳事務の分担が可能であること。
- ② 欠 点… i) 単一仕訳帳・単一元帳制よりも補助簿が併用されるため記帳事務により時間と手間がかかること。

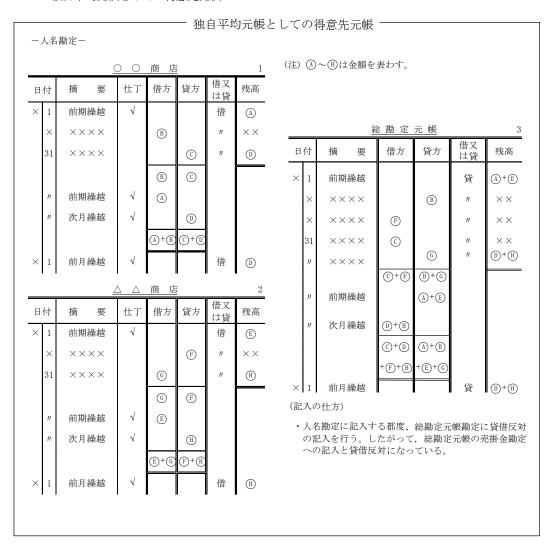
ii) 反復繰り返し出てくる取引について同じように仕訳記入を行わなければならない ので転記漏れの可能性が高くなること。

5. 独自平均元帳

① 意 義… 独自平均元帳とは、(普通) 仕訳帳から補助元帳への転記が複式記入でないため、補助元帳に人名勘定だけでなく総勘定元帳勘定と呼ばれる照合勘定を新たに設け、その中で転記の正確性を検証できるようにした補助元帳である。なお、この場合にも補助元帳の正確性を検証するための補助元帳検証表が作成される。

② 標準様式

・独自平均元帳としての得意先元帳



・独自平均元帳としての仕入先元帳に関しても同様なので省略する。

6. 補助元帳検証表

① 意 義… 補助元帳の各人名勘定の借方・貸方合計を算出しても、一つの取引について各勘定の借方又は貸方の一方にしか記入されないので、独自平均元帳でない単なる補助元帳である場合には、貸借は平均しない。そこで、補助元帳の各人名勘定の借方・貸方合計の金額に総勘定元帳上の統制勘定の貸借反対合計金額を合算して貸借合計金額の一致を確かめる表を作成することによって、補助元帳の正確性を検証する方法が採られる。この表を補助元帳検証表といい、特に仕入先については仕入先元帳検証表、得意先については得意先元帳検証表という。

② 標準様式

得 意 先 元 帳 検 証 表

平成×年×月31日

勘定科目	元		合	計		残高			
	丁	借	方	貸	方	借	方	貸	方
〇 〇 商 店		(A) -	+®	((D		
△ △ 商 店		Ē-	+ ©		Đ	(Ĥ		
売 掛 金 (注)		©-	+ F	A+B-	+E+G			D-	+ (H)
≅ +	A+B+ +F+G		A+B+ +F+G		(D) -	+111	(D) -	+11	

- (注) なお、補助元帳が独自平均元帳の場合には、『売掛金』ではなく『総勘定元帳勘定』となる。

- point up lesson 2 -

解答用紙はP.215

次の資料より、解答用紙に示した独自平均元帳としての仕入先元帳への帳簿記入を行うとともに仕入 先元帳検証表を作成しなさい。

[資料]

甲商店に対する前期繰越高は4,000円であり、乙商店に対するそれは8,000円である。

- 4月5日 甲商店より商品5,000円を掛で仕入れた。
- 4月20日 乙商店より商品1,000円を掛で仕入れた。
- 4月25日 甲商店に対する買掛金のうち7,000円を小切手を振出して支払った。
- 4月30日 乙商店に対する買掛金のうち6,000円を小切手を振出して支払った。

<解 答> (単位:円)

	日	付	摘	要	仕丁	借方	貸方	借又 は貸	残高								
4	1	1	前期	繰越	√			貸	4,000								
		5	仕	入			5,000	"	9,000				総	勘 定:	元帳		
		25	小切号	手支払		7,000		"	2,000	-	付	摘	要	借方	貸方	借又	残高
						7,000	5,000			4	1	前期	組 越			は貸 借	12,00
		30	前期	繰 越	√		4,000				5	仕:	入	5, 000		"	17, 00
		"	次 月	繰 越	√	2,000					20	仕	入	1,000		,,,	18,00
						9,000	9,000				25	小切引		_,	7,000	"	11, 000
Ę	5	1	前月	繰 越	√			貸	2,000		30	小切目			6,000		5, 000
				,										6,000	13, 000		
											,,	前期	繰 越	12,000	,		
				_	乙醇	南 店			2		,,	次 月	繰 越		5, 000		
	Η.	付	摘	要	仕丁	借方	貸方	借又 は貸	残高					18,000	18, 000		
_	1	1	前期		√ √	1077	277	は貨	8,000	5	1	前月	繰 越			借	5,000
		20	仕	入	,		1,000	Į Į	9,000					'			
		30	小切り			6,000	1,000	,,,	3, 000								
						6 000	1,000										
		,,	前期	繰越	√	5,000	8, 000										
		,,	次月		· √	3,000	,										
					,		9,000										
			前月			2,000	0,000	貸	3,000								

仕 入 先 元 帳 検 証 表

勘定科		П	合	計	残 高			
哟	勘 定 科 目		借方	貸方	借方	貸方		
甲	商	店	7, 000	9,000		2,000		
乙	商	店	6,000	9,000		3,000		
総甚	動定元帳甚	動定	18,000	13, 000	5,000			
計			31,000	31,000	5,000	5, 000		